

# ふるさと Something NEWS

## 第③回

### アグリとソーラーのシナジー ——キクイモから学ぶ、農と食そしてエネルギー

一般社団法人 光楓座  
一般社団法人 e f c o . j p

代表理事 佐藤建吉

額で65割、カロリーベースで38割となった。食料の確保は、重要であるが、都市への人口集中は、ますますこれを悪化させる。

#### ▼キクイモが話題

昨年秋、『キクイモ王国』という本が話題であった。出版社オーナーから贈呈して頂いた。キクイモ(菊芋)に多く含まれるイヌリンという成分は、中性脂肪を減らし、血糖値の上昇を抑制し、心筋梗塞・脳梗塞・糖尿病などの予防に効果があるという。

つけた。その道の駅で、大粒や小粒のキクイモを発売した。購入して食べた。キクイモは、形が不整で皮を剥くが大変だから、自己主張しない食味で、健康にもいいので、好きになった。

もしており、埼玉県産の品種の「彩のきずな」で、食味ランク特Aを初見した。キクイモの現場のほか、マコモタケの圃場、さらにウコンの粉末、かぼちゃ(パターナツ)、イチジク、大豆茶などの加工場もあり見学させていただいた。粉碎機や乾燥機械、真空包装器など、小型の加工機械を導入している。農業は6次化でないと言えない。いろいろな実証的な試みを行っている。ビニールハウスも遮光遮熱素材で管理している。いろいろ育種にも努力している。改革派の農家である。ソーラーシェアリングを話題にしたら、「ウチでもやってみよう」とのこと。現場を案内して頂いた。

本に掲載されている農家に電話をした。菊芋の名の通り黄色い花が美しいという。山形県では広く栽培されているという。しかし、筆者の住まいの春日部市のスーパーや道の駅では、まだ売っていない。キクイモは、栽培が極めて簡単で、手が掛からない。それで値段も安い。安いので手も掛けない。したがって流通する量も少ないという連鎖が起きていたようである。

「もみじ」とついている。「もみじ」という品種の鶏卵の自社ブランドは、『おぼろ月』。エサには農園産の有機米と米ぬか、野菜、牡蠣殻などであるという。実は、1歩をこえる米作もしており、埼玉県産の品種の「彩のきずな」で、食味ランク特Aを初見した。キクイモの現場のほか、マコモタケの圃場、さらにウコンの粉末、かぼちゃ(パターナツ)、イチジク、大豆茶などの加工場もあり見学させていただいた。粉碎機や乾燥機械、真空包装器など、小型の加工機械を導入している。農業は6次化でないと言えない。いろいろな実証的な試みを行っている。ビニールハウスも遮光遮熱素材で管理している。いろいろ育種にも努力している。改革派の農家である。ソーラーシェアリングを話題にしたら、「ウチでもやってみよう」とのこと。現場を案内して頂いた。

今年、訪問した加須市は、東京から50キロ、電車で90分程度。天空率100割の空気清浄な地である。東京に近く、積雪もない好立地の農業生産地である。地方と東京を比較すると、人口密度、都市景観、さらには主要産業や職種の違いは、すぐに思いつく。東京都市もかつては農業の盛んな地であったが、今では、宅地や団地、あるいは商業地になり、産業や労働も転換された。金を産む土地への転換が、後押ししたといえる。その現象が、いま地方にも波及し、農業生産が衰退し、食料の自給率は、生産

遠藤農園は、キクイモが主力ではなく、お米のほか野菜、鶏卵なども行

#### ▼遠藤農園訪問

遠藤農園の敷地は、母屋、加工場、ビニールハウス、養鶏場、そして露

#### ▼ソーラーシェアリング

遠藤農園の敷地は、母屋、加工場、ビニールハウス、養鶏場、そして露

遠藤農園は、キクイモが主力ではなく、お米のほか野菜、鶏卵なども行

遠藤農園の敷地は、母屋、加工場、ビニールハウス、養鶏場、そして露

遠藤農園の敷地は、母屋、加工場、ビニールハウス、養鶏場、そして露



購入した遠藤農園の農産品

遠藤農園の敷地は、母屋、加工場、ビニールハウス、養鶏場、そして露



ソーラーシェアリングでブロッコリーを栽培

遠藤農園の敷地は、母屋、加工場、ビニールハウス、養鶏場、そして露

連載・小水力

は、エネルギーの意味である。